

科目名	保健政策学特論	code number : HPM 201	選択必修	1 単位
-----	---------	--------------------------	------	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	火曜 3,4時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

保健政策とは、国民が健康な生活を維持する上で必要としているニーズと課題に対応するために、あるべき姿と有効な戦略を立案し、有限な保健医療資源を適正かつ公平に配分してこれを実現するための指針と行動計画を策定するものである。本講義では、具体的な保健政策を例に、保健政策（ヘルスポリシー）の基本的な理論を学び、政策の分析と立案ができる能力を獲得する。

2. 授業の到達目標

【一般目標（GIO）】

1. ヘルスポリシーの基本的な考え方と理論、現在行われている健康政策を理解し、その課題を抽出し、課題解決のために必要な政策を提言し、実施できるための知識と技術を習得する。

【行動目標（SBO）】

1. 公衆衛生における政策分析の重要性を説明できる。
2. 政策分析トライアングルを説明できる。
3. アジェンダ設定と政策決定モデルを概説できる。
4. 保健政策におけるステークホルダー分析ができる。
5. 保健政策における研究者の役割とエビデンスの活用について概説できる。
6. 保健政策の評価方法と評価計画を説明できる。
7. 学習した理論等を活用し、具体的な保健政策の立案ができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 授業内での発言・発表・討議参加 (50%)
- (2) 課題レポート (50%)

4. 教科書・テキスト

適宜提示する。

5. 参考書

Buse K, Mays N, Walt G. Making Health Policy (2nd edition). Open University Press. 2012.

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・指定する文献・資料等を事前に読んで理解すること。
- ・1コマにつき2時間程度の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

保健政策学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/26(火)	3	福田 吉治 教授	保健政策学入門
2	9/26(火)	4	福田 吉治 教授	政策分析トライアングル
3	10/10(火)	3	福田 吉治 教授	アジェンダ設定と政策決定モデル
4	10/10(火)	4	福田 吉治 教授	保健政策のモデル
5	10/24(火)	3	福田 吉治 教授	保健政策におけるステークホルダー分析
6	10/24(火)	4	福田 吉治 教授	保健政策における研究者の役割とエビデンス
7	10/31(火)	3	福田 吉治 教授	保健政策の実施と評価
8	10/31(火)	4	福田 吉治 教授	まとめ・総合討議

科目名	医療経済・経営学特論	code number : HPM 211	選択必修	1 単位
-----	------------	--------------------------	------	------

科目責任者	中田 善規	教授					
配当年次	1年次	配当学期	前期(後半) 後期(前半)	曜日・時限	月曜 3,4時限	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

医療は大きな社会システムの一部である。その医療を正確に分析するには社会システム分析ツールである経済学が必要である。特にミクロ経済学は絶対不可欠な分析ツールである。また医療経済学で語られる言葉も大半は厳密な経済学的定義があり、それを正確に理解しておくことが有意義な議論の第一歩となる。本講ではすべての基礎となるこの古典的ミクロ経済学を初歩から徹底的に理解し、それを医療に的確に応用できるようになることを目標とする。具体的には初級ミクロ経済学を医療者向けにアレンジして解りやすく時間をかけて講義する。さらに現在社会問題となっている医療問題を取り上げて、ミクロ経済学的分析を応用して問題の経済学的原因を議論する。

2. 授業の到達目標

【一般目標 (GIO)】

1. 経済学的思考を公衆衛生学に応用する。

【行動目標 (SBO)】

1. ミクロ経済学的ツールを用いて医療問題を分析する。
2. 現在日本が直面する医療に関する問題を経済学的視点から理解し、解決方法を提示する。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 積極的な授業参加、討論の論点の把握と対応力: 50%
- (2) 講義内でのテスト: 50%

4. 教科書・テキスト

- ・Mankiw NG. Principles of microeconomics. 5th Ed. Cengage Learning, Mason, OH. 2008 (訳本: マンキュー経済学第2版Iミクロ編、東洋経済新報社)
- ・Folland S, Goodman AC, Stano M. The economics of health and health care. 7th Ed. Pearson, Upper saddle River, NJ. 2013

5. 参考書

- ・マンキュー経済学第2版Iミクロ編、東洋経済新報社
- ・橋本英樹、泉田信行: 医療経済学講義 東京大学出版会 2011

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・全30コマの講義のうち8コマ以上を受講すればよいが、履修時は事前にどの講義を受講するかを科目責任者とよく相談をすること。
- ・教科書の各章を当該授業までに熟読し、授業中に行う議論の準備をする。
(①②などは教科書の予習すべき章を示す。)
- ・1回の授業あたり予習2時間、復習2時間が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/12(月)	3	中田 善規 教授	導入:医療と経済学①
2	6/12(月)	4	中田 善規 教授	経済学的思考・相互依存と交易の利益②③
3	6/19(月)	3	中田 善規 教授	医療の需要・供給と平衡④⑥
4	6/19(月)	4	中田 善規 教授	医療の弾力性⑤
5	6/26(月)	3	小林 廉毅 講師(非)	不確実性と保険1
6	6/26(月)	4	小林 廉毅 講師(非)	不確実性と保険2
7	7/3(月)	3	中田 善規 教授	医療消費者・医療生産者と市場効率⑦
8	7/3(月)	4	中田 善規 教授	税のコスト⑥⑧
9	7/10(月)	3	中田 善規 教授	外部性・公共財と共有資源⑩⑪
10	7/10(月)	4	中田 善規 教授	患者の需要理論(消費者選択理論)⑫
11	7/24(月)	3	中田 善規 教授	医療の生産理論・生産費用⑬
12	7/24(月)	4	中田 善規 教授	完全競争市場での医療の価格と生産⑭
13	7/31(月)	3	中田 善規 教授	独占での医療の価格と生産⑮
14	7/31(月)	4	中田 善規 教授	独占的競争と寡占の下での医療の価格と生産⑯⑰
15	7/31(月)	5	中田 善規 教授	まとめとテスト
16	9/25(月)	3	中田 善規 教授	導入・解説・輪読分担決定(第1章)
17	9/25(月)	4	中田 善規 教授	医療経済学のためのミクロ経済学ツール(第2章)
18	9/25(月)	5	中田 善規 教授	健康の生産(第5章)
19	10/2(月)	3	中田 善規 教授	医療の生産・費用・技術(第6章)
20	10/2(月)	4	中田 善規 教授	健康資本の需要(第7章)
21	10/2(月)	5	中澤 達 講師(非)	DPCに関する諸問題
22	10/16(月)	3	中田 善規 教授	健康保険の需要と供給(第8章)
23	10/16(月)	4	中田 善規 教授	消費者選択と需要(第9章)
24	10/16(月)	5	中田 善規 教授	非対称情報とエージェンシー(第10章)
25	10/30(月)	3	中田 善規 教授	健康保険市場の構成(第11章)
26	10/30(月)	4	中田 善規 教授	マネージド・ケア(第12章)
27	10/30(月)	5	中田 善規 教授	非営利会社(第13章)
28	11/6(月)	3	中田 善規 教授	病院と長期ケア(第14章)
29	11/6(月)	4	中田 善規 教授	医師開業(第15章)
30	11/6(月)	5	大嶽 浩司 教授(客)	医療を取りまく経済と経営

科目名	医療経済分析特論	code number : HPM 601	選択	1 単位
-----	----------	--------------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1年次	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	水曜 2時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

効率性・生産性の定量的分析は医療管理の要諦であると同時に、医療政策・経済上も極めて重要な意味を持つ。他産業における効率性・生産性の科学的測定は、経済学・経営学・工学分野で2000年以降急速に発展してきた。すでに確立された手法としてはデータ包絡分析や確率的フロンティア分析などが存在し、その応用発展型も盛んに研究されている。こうした手法は海外では企業経営・公共政策・教育・国防などに応用され、それをもとに制度設計や経営方針が決定されている。本講義ではこのフロンティア分析法を身に着けて、自身の研究課題に応用できるようになることを目標とする。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1.科学的効率性測定方法を理解する。

【行動目標(SBO)】

1.オペレーションズ・リサーチの基本的分析ツールとしてのフロンティア分析法を理解できる。

2.特にデータ包絡分析法を実際のデータに応用できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)プレゼンテーション (40%)
- (2)積極的な授業参加 (30%)
- (3)討論の論点の把握と対応力 (30%)

4. 教科書・テキスト

Ozcan YA: Health Care Benchmarking and Performance Evaluation: An Assessment using Data Envelopment Analysis (DEA)、2nd ed. Springer. 2014

5. 参考書

Hollingsworth B, Peacock SJ. Efficiency Measurement in Health and Health Care. Routledge. 2008

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・下記教科書・参考書を輪読形式で学生が報告する。それに対して教員は相互討論を促し、補足コメントする。同時にコンピュータソフト DEA Solver Proの使用を体験する。自身で効率性を測りたい題材を用意してくることが望ましい。
- ・当該期間に16時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

医療経済分析特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	11/15(水)	2	中田 善規 教授	講義概略・医療の評価(第1章)
2	11/22(水)	2	中田 善規 教授	データ包絡分析法(第2章)
3	11/29(水)	2	中田 善規 教授	規模の収穫モデル(第3章)
4	12/6(水)	2	中田 善規 教授	加重制限モデル(第4章)
5	12/13(水)	2	中田 善規 教授	無方向モデル(第5章)
6	12/20(水)	2	中田 善規 教授	パネルデータ(第6章)
7	12/27(水)	2	中田 善規 教授	医療の質(第7章)
8	2/7(水)	2	中田 善規 教授	先進モデル(第8章)

科目名	地域保健学特論	code number : HPM 603	選択	1 単位
-----	---------	--------------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造	准教授					
配当年次	1年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	火曜 1,2時限	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

地域における保健医療に関する課題の発見と問題解決を、地域のステークホルダーと協働で行える能力を養成することを基本目標とする。その際、1) 医療の利用や健康づくりに関する住民の視点、2) 保健医療活動を行う提供者の視点、3) 地域社会における両者の協働の視点から多角的に捉える力を養う。そのため、本授業では、演習または講師および受講生同士でディスカッションを通して、理論と手法を学ぶ。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 知識習得型の座学ではなく、地域保健に関わっていく上で、解決策、実践案を案出し得る能力・ツールを修得する。

【行動目標(SBO)】

1. 地域における健康と保健・医療に関する課題の発見、コミュニティづくり、ステークホルダーと協働した問題解決を行うことができる。
2. コミュニティ・コーディネートの手法について説明できる。
3. プロジェクト・サイクル・マネージメントを活用した問題分析、活動案案出を行うことが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 授業への積極的な参加 (40%)
- (2) レポート提出評価 (60%)

4. 教科書・テキスト

1. 開発援助のためのプロジェクト・サイクル・マネジメント: 参加型計画編
http://www.fasid.or.jp/publication/6_index_detail.shtml

5. 参考書

1. Where There is No Doctor: Village Health Care Handbook David Warner
2. 医療人類学入門: 波平恵美子 著 朝日選書
3. 援助とエンパワーメント: 佐藤寛 編 アジア経済研究所

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・履修学生に事前に配布する。
- ・当該期間に12時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

地域保健学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/27(火)	1	高橋 謙造 准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(講義/実習)
2	6/27(火)	2	高橋 謙造 准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(実習1)
3	7/4(火)	1	高橋 謙造 准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(実習2)
4	7/4(火)	2	高橋 謙造 准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(実習3)
5	7/11(火)	1	石崎 達郎 講師(非)	高齢社会における地域保健医療と研究事例
6	7/11(火)	2	石崎 達郎 講師(非)	高齢社会における地域保健医療と研究事例
7	7/18(火)	1	山本 真 講師(非)	これからのコミュニティと地域保健:コミュニティ・コーディネートについて
8	7/18(火)	2	山本 真 講師(非)	コミュニティ・コーディネートについての実践ワークショップ

科目名	国際保健政策学特論	code number : HPM 401	選択	1 単位
-----	-----------	--------------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造	准教授					
配当年次	1年次	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	火曜 5・6時限	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

- ・国際保健分野・母子保健分野の課題を理解するための視座を獲得し、数多い政策課題を理解できる能力を身につける。
- ・そのための視点、ツールを習得する。

2. 授業の到達目標

【一般目標 (GIO)】

1. 国際保健に関する政策課題を俯瞰して、世界的な母子保健政策に関する知見を備えた実務家となることを目標とする。

【行動目標 (SBO)】

1. 先進国、途上国の母子保健医療政策の現状・課題を把握し、制度や課題について説明出来る。
2. 国際的な視点から、政策を相対化し、評価出来る。
3. 実務に従事する際に、学びを活かすことが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

- ・プレゼンテーション資料(70%)、講義における議論の参加度(30%)で総合評価する。
- ・毎回の講義の担当者を決定し、資料を配布するので、その内容に関してプレゼンテーションできる準備をして臨むこと。発表されたプレゼンテーション資料が評価の対象となる。
- ・ただし、無断欠席に関しては、減点の対象となる。

4. 教科書・テキスト

- ・特に指定しない

5. 参考書

- ・講義前にLMSに参考文献を掲載するので、熟読して参加すること。

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・本コースでは、受講生の間での討論を重視するので、指示された資料・参考書・文献は、担当者以外も事前に熟読しておくこと。
- ・指定された授業用テキスト等を読み、授業内での議論に備える。
- ・当該期間に12時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

国際保健政策学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/13(火)	6	高橋 謙造 准教授	世界的母子保健政策のOverview (データで観る母子保健課題)
2	6/20(火)	6	高橋 謙造 准教授	日本における母子保健課題1 (少子化対策、待機児童の現状)
3	6/27(火)	6	高橋 謙造 准教授	日本における母子保健課題2 (小児の貧困、児童虐待の現状)
4	7/4(火)	6	高橋 謙造 准教授	Midwifery trend
5	7/11(火)	5	高橋 謙造 准教授 野村真利香 講師(非)	Newborn health
6	7/18(火)	5	高橋 謙造 准教授	Continuum of Careについて考える (母子健康手帳が担保するサービス)
7	8/1(火)	4	高橋 謙造 准教授	災害対応とChild Protection
8	8/1(火)	5	高橋 謙造 准教授	総合討論、発表

科目名	Seminar on Healthcare Management	code number : HPM 421	選択	1 単位
-----	----------------------------------	--------------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏季(8-9月)	曜日・時限	4日間	授業方法	集中講義

1. 授業の概要 Course Overview

This course will introduce you to the basic principles of organizational behavior. These principles have become increasingly important in research, practice and policy making in the public health sector. The course is composed of three parts: a) individual in the organization, b) groups in the organization, and c) organization system. The course will cover the standard topics studied in introductory organizational behavior, but will emphasize issues of particular relevance to public health sector, and will use examples and problems taken from the public health sector.

2. 授業の到達目標 Objective of the course

This course is designed to meet the following GIOs and SBOs.

General Instructive Objectives (GIOs)

1. The main objective of the course is to familiarize the students with the basic concepts and tools of organizational behavior used in research and in practice, and to serve as an introduction to more advanced courses in public health leadership.

Specific Behavioral Objectives (SBOs): Participants can

1. apply theory of organizational behavior to health care and public health.
2. manage health care organization based on scientific evidence.

3. 成績評価の方法および基準 Evaluation

Participation in class discussion (50%), Oral examination (50%)

4. 教科書・テキスト Textbook

The course textbook is: Robbins SP, Judge TA. Essentials of Organizational Behavior, 13th ed. Pearson, 2015. The students are required to read the designated chapters before each class. 8 sessions x 90 min each.

5. 参考書 Recommended readings

Suggested readings:Healthcare Management

- 1 Walshe K, Smith J. (eds): Healthcare Management, Open University Press, London, 2006.
- 2 Kovner AR, McAlearney AS, Neuhauser D: Health Services Management, Cases Readings and Commentary, 9th ed., Health Administration Press, Chicago, 2009
- 3 Lombardi DM, Schermerhorn JR: Health Care Management, John Wiley & Sons, Hoboken, 2007
- 4 Buchbinder SB, Shanks NH: Introduction to Health Care Management, Jones and Bartlett Publishers, Sudbury, 2007
- 5 Dunn RT: Haimann's Healthcare Management, 8th ed., Health Administration Press, Chicago, 2007
- 6 Ozcan YA: Quantitative Methods in Health Care Management, 2nd ed., Jossey-Bass, San Francisco, 2009

Leadership

- 7 Leadership Berry LL, Seltman KD: Management Lessons from Mayo Clinic, McGraw-Hill, New York, 2008
- 8 Bass BM: The Bass Handbook of Leadership, 4th ed., Free Press, New York, 2008

Healthcare System

- 9 Brown ER: Rockefeller Medicine Men, University of California Press, Berkeley, 1979
- 10 Reid TR: The Healing of America, The Penguin Press, New York, 2009
- 11 Herzlinger R: Who Killed Health Care?, McGraw-Hill, New York, 2007
- 12 Porter ME, Teisberg EO: Redefining Health Care, Harvard Business Press, Boston, 2006

General Management

- 13 Milgrom P, Roberts J: Economics, Organization and Management, Prentice Hall, Englewood Cliff, 1992
- 14 Jacobs CS: Management Rewired, Penguin Group, New York, 2009
- 15 Lundin SC, Paul H, Christensen J: Fish!, Hodder and Stoughton, London, 2000
- 16 van Vugt M, Ahuja A. Naturally Selected, HarperCollins, New York, 2011
- 17 Martin R. The Responsibility Virus, Basic Books, New York, 2002

- 18 Dixit AK, Nalebuff BJ. Thinking Strategically: The Competitive Edge in Business, Politics, and Everyday Life. W W Norton, 1993
 19 Levy S. In the Plex: How Google Thinks, Works, and Shapes Our Lives. Simon & Schuster, New York, 2011
 20 Gonzales L. Deep Survival. Norton, New York, 2003
 21 Christensen CM. The Innovator's Dilemma. Harper Business, New York, 1997
 22 Burrough B, Helyar J. Barbarians at the Gate. Harper Business, 1988
 23 Covey SR. The Seven Habits of Highly Effective People. Free Press, 1989
 24 Peter LJ, Hull R. The Peter Principle. Harper Business, 2009
 25 Robbins SP, Judge TA. Essentials of Organizational Behavior, 12th ed. Pearson Education Limited, 2012
 26 Slywotzky A, Wise R. How to Grow When Markets Don't. Warner Books, 2003
 Ethics and Legal Issues
 27 Showalter JS: The Law of Healthcare Administration, 5th ed., Health Administration Press, Chicago, 2008
 28 Gawande A. The Checklist Manifesto, Metropolitan Books, New York, 2009
 29 Miller GW. King of Hearts: The True Story of the Maverick Who Pioneered Open Heart Surgery. Crown Publishers, New York, 2000
 30 Harbin T. Waking Up Blind. Langdon Street Press, 2009
 31 Marx D. Whack-a-Mole: The Price We Pay for Expecting Perfection. By Your Side Studios, 2009
 32 Marx D. Dave's Subs. By Your Side Studios, 2015.
 33 Woodford M. Exposure: Inside the Olympus Scandal. Penguin, 2012.

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間 Expected time to accomplish homework assignments

- Study technical terminology before class.
- Sixteen hour preparation will be necessary for all the sessions.

7. その他履修上の注意事項 Others

- May give feedbacks on exams in class.
- Must understand the relation between this class and overall curriculum policy.

<授業計画>

Seminar on Healthcare Management

回数	日付	時限	担当者		授業内容
1	8/12(土)	1	Yoshinori Nakata	Professor	Introduction (Ch1)
2	8/12(土)	2	Yoshinori Nakata	Professor	Individual Perception and Decision Making (Ch6)
3	8/13(日)	1	Yoshinori Nakata	Professor	Motivation I and II (Ch7+8)
4	8/13(日)	2	Yoshinori Nakata	Professor	Communication Process (Ch11)
5	8/14(月)	1	Yoshinori Nakata	Professor	Leadership (Ch12)
6	8/14(月)	2	Yoshinori Nakata	Professor	Power and Politics (Ch13)
7	8/15(火)	1	Yoshinori Nakata	Professor	Conflict and Negotiation (Ch14)
8	8/15(火)	2	Yoshinori Nakata	Professor	Organizational Change (Ch17)

科目名	Seminar on Universal Health Coverage & Aging Society	code number : HPM 421	選択	1 単位
-----	--	--------------------------	----	------

科目責任者	井上まり子 准教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏季(8-9月)	曜日・時限	4日間	授業方法	集中講義

1. 授業の概要 Course Overview

Universal Health Coverage (UHC) is an important element of the global health agenda in ensuring that all people obtain necessary health services without financial hardship. Moreover, ageing of the population is a continuing problem around the world regardless of the each individual country's level of development. This means that UHC must be achieved in a world facing both demographic and epidemiological transitions. With regard to discussions on UHC in ageing societies, a simple focus on the elderly population is insufficient. We need a grand social design to promote the reforms necessary to overcome changes related to the ageing population. A wide range of public health skills and knowledge is required to support a cross-spectral approach to achieving UHC through a better understanding of good practices.

The purpose of this course is to provide students with an understanding of the global health agenda in terms of Universal Health Coverage, particularly in an ageing society. Japan is one of the countries experiencing a rapid growth in the elderly population. Through a combination of in-class lectures, discussions, and site visits, we would like to use the situation in Japan as a case study of how UHC can be achieved in an ageing society.

2. 授業の到達目標 Objective of the course

This course is designed to meet the following GIOs and SBOs.

General Instructive Objectives (GIOs)

- (1) To understand the current state of UHC and population ageing in Japan and around the world
- (2) To use statistical data analysis to describe the current ageing and epidemiological transition
- (2) To identify the stakeholders and their role in achieving UHC
- (3) To develop effective strategies for achieving UHC in an ageing society

Specific Behavioral Objectives (SBOs): Participants can

- (1) Describe the background and trends to setting the global agenda on UHC
- (2) Understand the statistical data related to demographic and epidemiological transitions.
- (3) Define and provide an overview of UHC in Japan and around the world.
- (4) Perform stakeholder analysis and explain each stakeholder's role in achieving UHC, particularly in a local setting.
- (5) Understand the policies and projects related to UHC in Japan from multiple perspectives, such as the health insurance system, health human resources, health financing, regulation, social welfare, community development, and other relevant areas.
- (6) Develop effective alternative strategies for achieving UHC in an ageing society in their own region or countries.

3. 成績評価の方法および基準 Evaluation

In-class discussion 70%, Final report/presentation 30%

4. 教科書・テキスト Textbook

Textbooks and reading materials will be announced on the first day of the class.

5. 参考書 Recommended readings

- (1) World Health Organization. *World report on ageing and health*. Geneva: WHO; 2015

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間 Expected time to accomplish homework assignments

- Study technical terminology before class.
- Five hour preparation will be necessary for all the sessions.

7. その他履修上の注意事項 Others

- May give feedbacks on exams in class.
- Must understand the relation between this class and overall curriculum policy.

<授業計画>

Seminar on Universal Health Coverage & Aging Society

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/21(月)	3	Mariko Inoue Associate Professor	Introduction
2	8/21(月)	4	Mariko Inoue Associate Professor	Lecture and discussion 1. Universal Health Coverage
3	8/22(火)	1	Mariko Inoue Associate Professor	Lecture and discussion 2. Ageing in Japan
4	8/22(火)	2	Mariko Inoue Associate Professor	Lecture and discussion 3. Japan Vision Health Care 2035
5	8/22(火)	3	Mariko Inoue Associate Professor	Lecture and discussion 4. Role of local government in Japan
6	8/22(火)	4	Mariko Inoue Associate Professor	Lecture and discussion 5. The power of innovation
7	8/23(水)	1	Mariko Inoue Associate Professor	Case 1 Health policy for ageing society in Japan
8	8/23(水)	2	Mariko Inoue Associate Professor	Site visit 1.
9	8/23(水)	3	Mariko Inoue Associate Professor	
10	8/23(水)	4	Mariko Inoue Associate Professor	
11	8/24(木)	1	Mariko Inoue Associate Professor	Case 2 Good practices to achieve UHC of Japanese local government
12	8/24(木)	2	Mariko Inoue Associate Professor	Site visit 2
13	8/24(木)	3	Mariko Inoue Associate Professor	
14	8/24(木)	4	Mariko Inoue Associate Professor	
15	8/25(金)	2	Mariko Inoue Associate Professor	Wrap up

科目名	特別講義(保健政策・医療管理学の展開Ⅰ～Ⅲ)	code number : HPM 401～403	選択	1 単位
-----	------------------------	------------------------------	----	------

科目責任者	Alastair Gray	客員教授(※)					
配当年次	1年次	配当学期	冬季(1-2月)	曜日・時限	4日間	授業方法	集中講義

1. 授業の概要

経済学とは、また医療経済学とは何か。本講義ではコストを軸とした健康と豊かさの評価、費用対効果の概念を中心に、公衆衛生の経済学的側面の基礎を身につける。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 医療経済学をコスト・効果の対比で理解する。

【行動目標(SBO)】

1. 保健と医療の文脈における経済学および経済学的手法について説明できる
2. コストの概念を説明できる
3. クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を測定し、評価するための技術を説明できる
4. 費用対効果分析の概念を理解できる

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 授業における議論への参加度(50%)
- (2) 最終の口頭試験(50%)

4. 教科書・テキスト

・特に指定しない。

5. 参考書

・講義で紹介。

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・事前に講義用資料が専用HP上に公開される。
- ・当該期間に16時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・各回終了後には、日本人教員による補講が行われる。
- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
- (※) 年度により開講内容が異なる場合があり、Ⅰ～Ⅲのいずれかを開講する。
- (※) 担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。
- (※) また、具体的な授業日時、授業内容については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。

＜授業計画＞

特別講義(保健政策・医療管理学の展開Ⅰ～Ⅲ)

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	1/20(土)	1	Alastair Gray 教授(客)	経済、医療、そして医療経済学
2	1/20(土)	2	Alastair Gray 教授(客)	経済学の手法を医療分野に適用する
3	1/21(日)	1	Alastair Gray 教授(客)	コスト
4	1/21(日)	2	Alastair Gray 教授(客)	疾病のコストと負担
5	1/22(月)	1	Alastair Gray 教授(客)	クオリティ・オブ・ライフの測定と評価
6	1/22(月)	2	Alastair Gray 教授(客)	疾病のモデリングと意思決定モデル
7	1/23(火)	1	Alastair Gray 教授(客)	優先順位決定のための費用対効果分析の導入
8	1/23(火)	2	Alastair Gray 教授(客)	還付決定のための費用対効果の導入(英国のNICEを例に)

科目名	保健政策・医療管理学特殊研究	code number : HPM 510	選択必修	12 単位
-----	----------------	--------------------------	------	-------

科目責任者	各指導教員						
配当年次	1～3年次	配当学期	通年	曜日・時限	(個別設定)	授業方法	演習

1. 授業の概要

論文作成能力に加えて、保健医療システムの変革者(Change Agent)として具体的な成果を生み出すことができる。
(より具体的な行動目標については、別途予定されている合同ガイダンスや研究指導教員との個別面談を通じて学生ごとに設定する)

2. 授業の到達目標

保健政策・医療管理学分野の研究テーマにおいて、公衆衛生学の研究者として必要とされる調査研究方法や論文作成をはじめとする研究手法について指導を実施する一方、学生自らが自立して研究テーマを模索し、結果をまとめ、情報を発信する実践者としてのコンピテンス(成果達成のために求められる能力)を身に付けることを基本目標とする。
尚、個々の学生のこれまでのキャリア、能力、進路希望等を踏まえた適切な指導を実施する。

3. 成績評価の方法および基準

最終成果物としての研究発表だけでなく最終成果にいたるプロセスも評価対象とする。
(詳細については、別途予定されている学位論文に関するガイダンスで説明する)

4. 教科書・テキスト

・適宜提示する。

5. 参考書

・適宜提示する。

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・まずは学生各自の本分野における高い問題意識が重要である。
その上で、研究指導教員との議論を通じて問題解決に向けた研究能力・実践能力の能力開発を継続的に行っていく。
- ・研究内容や時期によって研究に使う時間は変動するものであるが、継続的に研究時間を確保することが重要である。

7. その他履修上の注意事項

- ・学位申請の手引き等により、計画審査、中間審査および学位審査に至る流れを理解し、数年間の長期計画を立案し実行する。
- ・毎月末、1か月間の学習や研究活動などについて、指導教員に報告する。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

回数	日付	時限	担当者	授業内容
【概要】 保健政策や医療管理学の分野の研究で特に必要とされる研究手法について、深く追求する。特に理論面を重視して、現実社会への応用を評価してゆく。具体的内容は各研究課題に合わせて柔軟に対応する。 【研究指導教員と主な指導内容】 研究指導教員は個々の学生の研究テーマに応じて以下の研究指導教員から指名される。指導日程については当該研究指導教員と相談し別途定める。 (中田善規) 医療管理学の実務に活かされるような現場でのデータ収集と分析方法などを研究指導する。 (福田吉治) 国内外の保健医療政策に必要なヘルスポリシーの計画、実施および評価の手法に関する研究指導をする。 (矢野榮二) エビデンスベースの公衆衛生学を指導する。 (高橋謙造) 地域保健や国際母子保健、プライマリ・ヘルス・ケア等に資する政策分析の研究指導をする。 (井上まり子) 国内外の保健医療政策の科学的根拠になるような疫学研究などを研究指導する。 (崎坂香屋子) 国際保健政策の観点から途上国等での医療政策、健康格差等フィールドベースの疫学研究の指導を行う。				